

公益財団法人日本刀文化振興協会

令和6年度事業報告

(令和6年12月1日～令和7年11月30日)

1. 公益目的事業（刀職者を対象とする事業）〈新公1-1〉

① 第16回刀職者実技研修会

会期：令和7年8月29日(金)～31日(日)の3日間

会場：坂城町中心市街地コミュニティセンター（長野県）

参加：6職種 計30名参加

② 日本刀に関わる人材育成技能研修事業（刀剣修復特殊技能研修事業）〈新公1-1〉

（研磨・白鞘・白鞘・白銀・刀装具）※文化庁育成事業

会場：京都 北野天満宮

開催時期：9月8日(月)～10日(水)

講師：3名 研修生：8名

③ 第15回新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会〈新公1-2〉

主催：公益財団法人日本刀文化振興協会長野県埴科郡坂城町、坂城町鉄の展示館

共催：信濃毎日新聞社ほか

部門：作刀、刀身彫刻、研磨、外装、押形

会期：令和7年6月8日(土)～8月31日(日) 坂城町鉄の展示館（長野県）

来場者数：2,037名

令和7年10月31日(金)～11月25日(火) 明治神宮宝物殿(東京都)

来場者数：4,447名

令和7年11月11日、公益財団法人日本刀文化振興協会より明治神宮に対し
月山貞利刀匠作刀の刀を奉納

後援：文部科学省、経済産業省、観光庁、長野県

授賞：（特別賞）文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、観光庁長官賞、長野県知事賞、
信濃毎日新聞社賞、坂城町町長賞

※今回、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞を受賞した上山輝平刀匠が規定を満たしたため「日本刀名匠(作刀)」となった。

④ 第18回お守り刀展覧会（後援実施） 主催：全日本刀匠会 〈新公1-2〉

内容：全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展観

後援内容：後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等

会場：備前長船刀剣博物館、坂城町鉄の展示館

2. 公益目的事業（不特定一般向け事業）〈新公2-1〉

① 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会

・公開鑑賞会・特別鑑賞会 未実施(会場予約取れず)

・坂城町「日本刀講座」6月29日(日)初心者向け刀剣講座開催

7月13日(日)「日本刀に触れてみよう」開催

② 一般及び学芸員のための日本刀講座の開催及び講師派遣<新公2-2>

旅行代理店社員に対する刀剣研修実施 8月29日～30日

③ 日本刀に関する国際交流事業<新公2-3>

・セルビア共和国からの鍛冶職人受け入れ 8月27日～9月10日

④ 鍛錬道場見学会<新公2-4>

・鎌倉 正宗工芸(鍛錬場)で見学会実施 4月3日、6月4日

3. 収益事業

・新作日本刀・刀装具等の製作販売及び保存・修理の受託<新収1>

刀剣研磨・修理受託として前年比売り上げ増

・「新作日本刀証明証」発行事業<新収2>

今期46件

4. その他

・広報活動の強化→HPの改訂実施

・令和7年4月から「税関提出用第二様式」が正式に財務省・文化庁から承認された

・一般の方からの「発見届」に関する相談に対応する。→電話による相談21件

以上